

# 農と微生物

EMの生みの親・比嘉先生が「みなと横須賀」に来る！



事例発表：川島農園（三浦市三崎町）

事例発表  
小泉 章（鎌倉市城廻）

第9期神奈川EM有機農業実践塾講義

## 比嘉照夫教授 横須賀講演会



〔開催日時〕 2016年11月19日（土） 〔会場〕 横須賀市文化会館  
中ホール

入場 14:00 / 開演 14:30 / 終演 18:00 〒238-0016 横須賀市深田台50

〔参加費〕 700円（インターネット） 1,000円（前売券） 1,500円（当日券）

主催：特定非営利活動法人EMネット神奈川

後援：鎌倉市（申請中） NPO法人エコガイア 三浦半島EM研究会 株式会社 イー・エム ジャパン

農家  
EMネット神奈川理事  
**小泉 章**  
農家  
EMネット神奈川理事  
**川島 義徳**  
地球大学名誉教授  
国際EM技術研究所所長  
**比嘉 照夫**

鎌倉市在住、20以上前にEMと出会い始める。EM活性液を大量に作り活用することで、トマトの限界突破を実現。私有地から出る竹や雑草など身近な有機物を利用し、肥料も自分で作り、経費削減に力を入れています。比嘉照夫先生の直接指導により、畑に結界を張り巡らす整地技術や光活性生ごみ液肥の施用など、最新のEM技術を取り入れている。1月から7月までトマト栽培実習講座を主宰、毎週金曜日には自宅で野菜の直販もやっている。

三浦市原町在住、川島農園は江戸時代からこの場所で露地野菜を200年以上作り続けており、「食べて美味しく健康になる野菜作り」をモットーに減農薬・減化学肥料栽培（三浦市栽培基準の70%減）を実践、「エコファーマー」として認定されている。冬から春にかけては、大根、早春キャベツ、春キャベツを、夏にはスイカ、きゅうり、ナス、ピーマン、じゃがいもを栽培している。

1982年に「EM（有用微生物群）」を開発し、農業・畜産・環境・建設・工業利用・健康・医学などの幅広い分野で活用され、現在世界150カ国以上に普及している。また、EMは1997年「現代用語の基礎知識」で「最新キーワード」になり、学校、多数の自治体で活用が進んでいる。主な著書「微生物の農業利用と環境保全」（農文協）、「地球を救う大変革シリーズ」（サンマーク出版）、「シントロピーの法則」（NPO法人地球環境共生ネットワーク）

【チケットの購入・お申し込み方法】

- 購入できるところ EMショップ地天 鎌倉市大船1-11-19 中原ビル4F
- WEBよりお申込み [https://ticketpay.jp/booking/?event\\_id=4563](https://ticketpay.jp/booking/?event_id=4563)
- FAXよりお申込み **0467-45-0936** (24時間受付)

全国のファミリーマート店舗でチケットを受領できます。※手数料324円をチケット代とは別にお支払いいただきます。

チケット引換券を郵送しますので、講演会当日受付に提示の上、チケットをご購入下さい。

下記のお申し込みフォームへご記入の上、FAXにて送信をお願い致します。

お名前	お電話番号		( ) -		
ご住所	〒	参加人数	人	懇親会	人

【アクセス】

JR横須賀駅から  
京浜急行バス10分  
バス停「文化会館前」  
のりば&行き先  
①衣笠駅（衣笠十字路）行  
②「長井」行  
②「横須賀市民病院」行  
②「三崎口駅」行  
②「大楠芦名口」行  
②「YRPセンター」行

教授を囲んで懇親会  
時間：18:30-20:30  
会場：セントラルホテル  
京急横須賀中央駅前徒歩1分  
定員50名 会費5,000円

**お車の場合**

横浜横須賀道路、横須賀インター経由  
本町山中有料道路終点より国道16号に沿って進み、本町一丁目交差点を右折。そのまま直進し、Y字路を右折、横須賀中央駅横の坂を上る。道なりに進み、文化会館入口の標識が出てきたら、左折。

※土・日・祝日は、周辺道路がたいへん混みあいます。ご注意ください。

文化会館入口、平坂、駐車場入口、正面玄関、博物館、横須賀市文化会館、モアーズシティ、花屋、信用金庫、京浜急行線、横須賀中央駅、至本町一丁目交差点、至三浦海岸、至平成町。

【お問合せ】特定非営利活動法人EMネット神奈川  
●〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船3-1-3 セイショウナンビル7F (イ・エム・ジャパン内)  
●TEL：0467-45-4367 (受付時間：9：30～17：30) ● FAX：0467-45-0936 (24時間受付)  
●E-mail: nagai@emj.co.jp